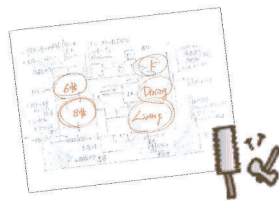


お宅拝見！

採光も通風も確保

動線のよい快適な住まい



DATA

敷地面積	： 365.56㎡ (110.57坪)
1階	： 169.20㎡ (51.18坪)
2階	： 133.00㎡ (40.23坪)
延床面積	： 302.20㎡ (91.41坪)
用途地域	： 無指定

雪の被害で建て替えを決意



(上) 白と黒のモノトーンが落ち着いた質感の外観

当初、母屋の増築工事を計画されていたY様宅は、大雪（積雪2m！）で母屋の軒が折れてしまい、それを機に建て替えをされることになりました。そこで、豪雪地域にも耐えうる構造計算と、強度の確認された木材を使った『デジタルフレーム構法』を選んで頂きました。

大空間の居住スペースと、日当たり通風の良い大きな窓を配置できたのも、安心・安全の設計『デジタルフレーム構法』ならではの空間提案です。

懐かしい香りと

ぬくもりに包まれる空間。

解体前の母屋に立派な木材が使われていたので、新居への再利用を提案させていただきました。リビングの天井には、旧和室に使われていた板をアクセントとして使用しました。ご家族の思い出を受け継いでいます。

LDには深夜電力を利用した、蓄熱式床暖房を採用。また、『フォームライトSL工法』により

断熱の家にすることで、寒い地域でも、一年中を心地よく過ごしていただけます。



(左) 構造計算上、どうしても抜けない筋違を意匠的に利用。棚を取り付けることにより、インテリアとして、さりげないLDの仕切りにもなっています。



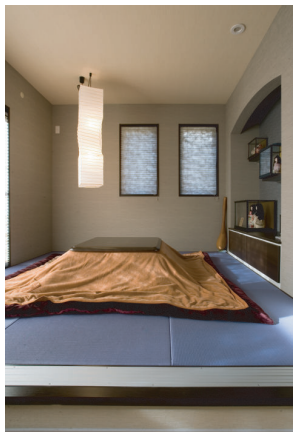
(右) 大勢のお客様にも対応できる二間続きの和室。広縁から障子を通してやわらかい光が注ぎ込む、格調高い本格和室です。



伸びやかな、陽光溢れる玄関。

玄関を入ると、個性的な天井が目に飛び込んできます。天井の梁は解体した母屋に使われていた材料を再利用し、美しく甦りました。スノコ状に貼った天井の隙間からは、2階のサンルームを通して穏やかな陽光が降り注ぎ、懐かしい香りとぬくもりに包まれる空間に仕上がりました。

正面のカウンターには、ご主人が丹精込めて育てられた蘭の鉢植が飾られ、優しくお客様を迎えてくれます。



(右上) 玄関上のサンルーム。天窓とバルコニーに面した窓からたっぷりと光が注ぎ、階下に届けています。陽光溢れる空間は、ご主人が趣味の蘭の花を育てるスペースとして活用されています。

(左上) リビングの横に設けた畳コーナー。和紙の縦長ライトが情緒豊かな雰囲気を高めています。